



## 2020年12月期 第2四半期(1月～6月期)決算 補足説明資料

証券コード:3449

- ✓ 本資料に記載された将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき作成されたものであり、将来発生する様々な要因により、異なる結果となる可能性を含みます。
- ✓ 2016年～2018年決算期末及び2019年第2四半期は、決算短信、有価証券報告書、四半期報告書及び連結計算書類を作成していないため、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号)に基づき作成した連結財務諸表の数値を、参考情報として記載しております。
- ✓ 2016年～2017年決算期末の数値は、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)の適用前の数値を、参考情報として記載しております。
- ✓ 2020年第2四半期決算短信から、事業セグメントの名称を下記の通り変更いたしました。尚、各セグメントの事業内容に変更はございません。

変更前		変更後
管継手事業	→	継手事業
管継手関連事業	→	防災・工事事業
金属塑性加工事業	→	自動車・ロボット事業
介護事業	変更なし	介護事業



1. 2020年12月期 第2四半期決算概要
2. 2020年12月期 業績予想
3. TOPICS
4. 株主還元

---

# 1. 2020年12月期 第2四半期決算概要

---

- ◆ **連結業績**
  - 新型コロナウイルスの影響も見られたが、継手事業及び防災・工事事業が牽引し、前年同期比プラスで推移。
- ◆ **継手事業(旧 管継手事業)**
  - 主に5G関連の設備投資の増加に伴う真空配管需要の伸びにより、真空機器の売上が大幅に増加し、継手事業全体の業績を押し上げた。
- ◆ **防災・工事事業(旧 管継手関連事業)**
  - 消防設備工事は、大型案件の完工により売上増加。
  - マルチアクアは、住宅メーカー向け販売強化を継続中。
- ◆ **自動車・ロボット事業(旧 金属塑性加工事業)**
  - 同ウイルスの影響で、自動車関連の業績が低迷。
- ◆ **介護事業**
  - 主力の福祉用具レンタルは、堅調に推移。
  - 福祉用具の販売及び介護用住宅改修は、売上減少。



# 連結業績の推移



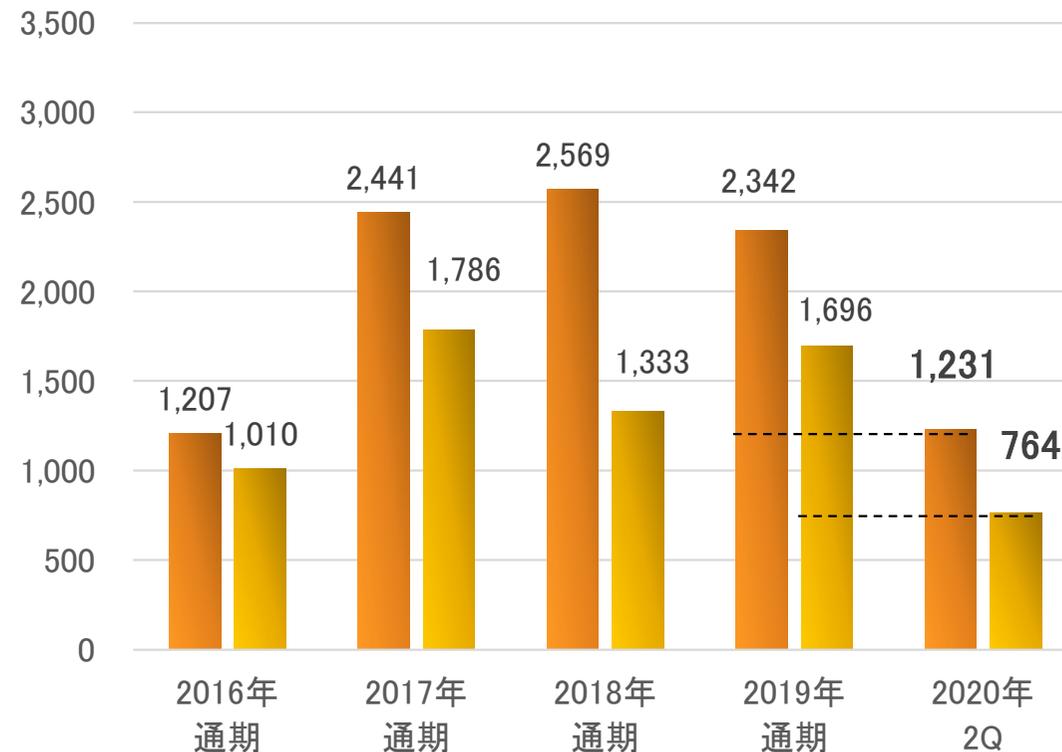
単位:百万円



## 2Q対前年通期比

■	売上高	53.5%
---	-----	-------

単位:百万円



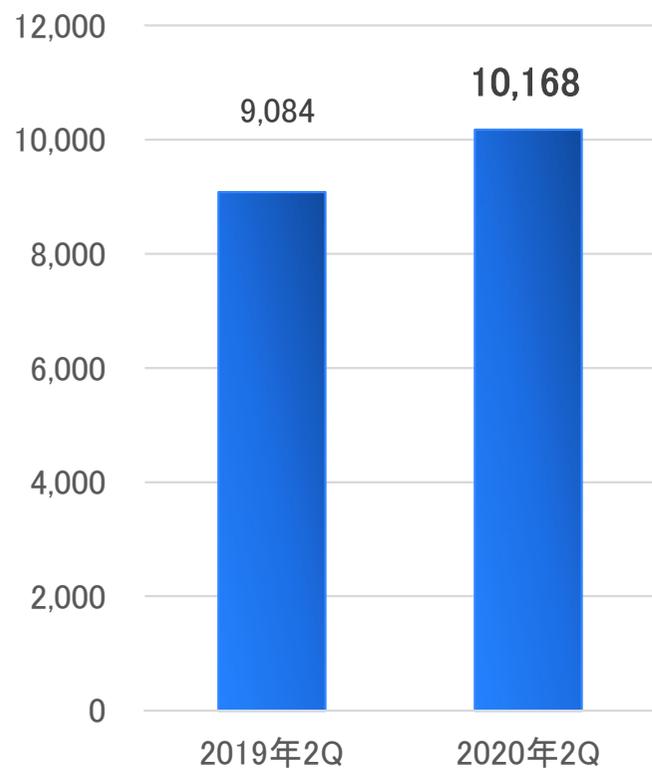
## 2Q対前年通期比

■	営業利益	52.6%
■	親会社株主に帰属する当期純利益	45.0%

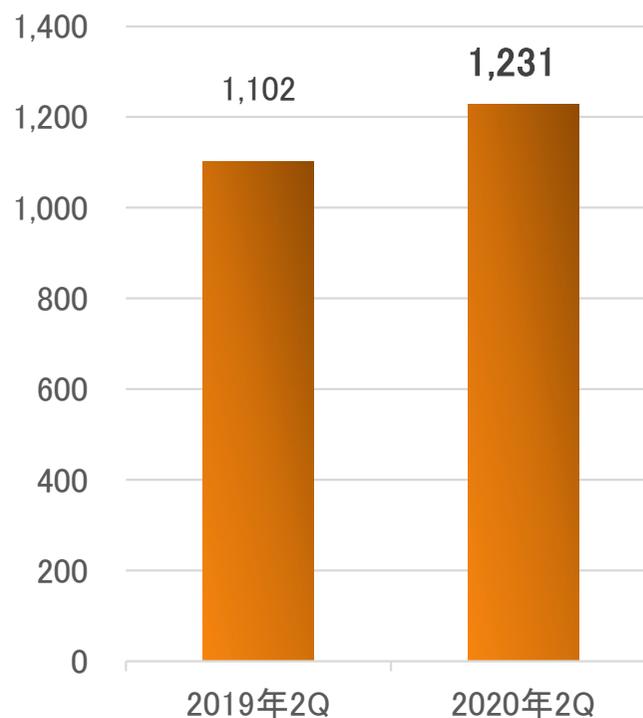
## 第2四半期連結業績の前年同期比



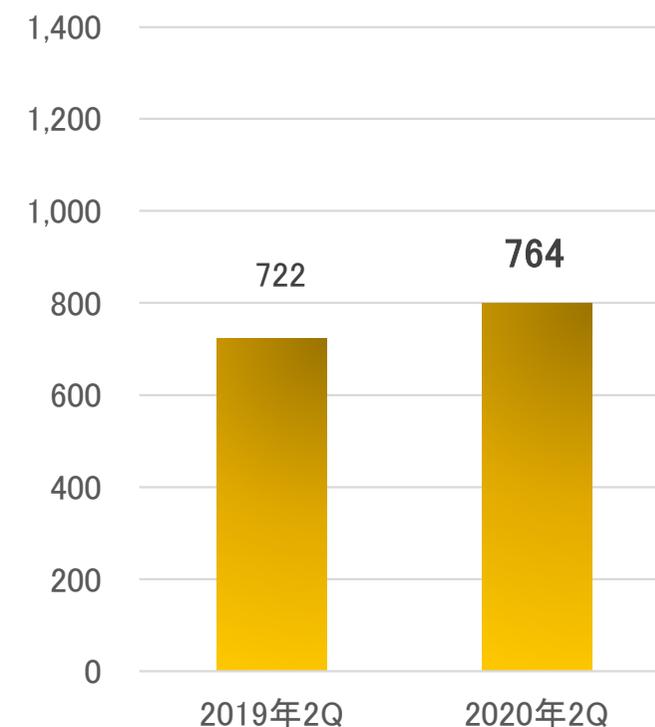
単位:百万円



**売上高**  
11.9%増



**営業利益**  
11.8%増

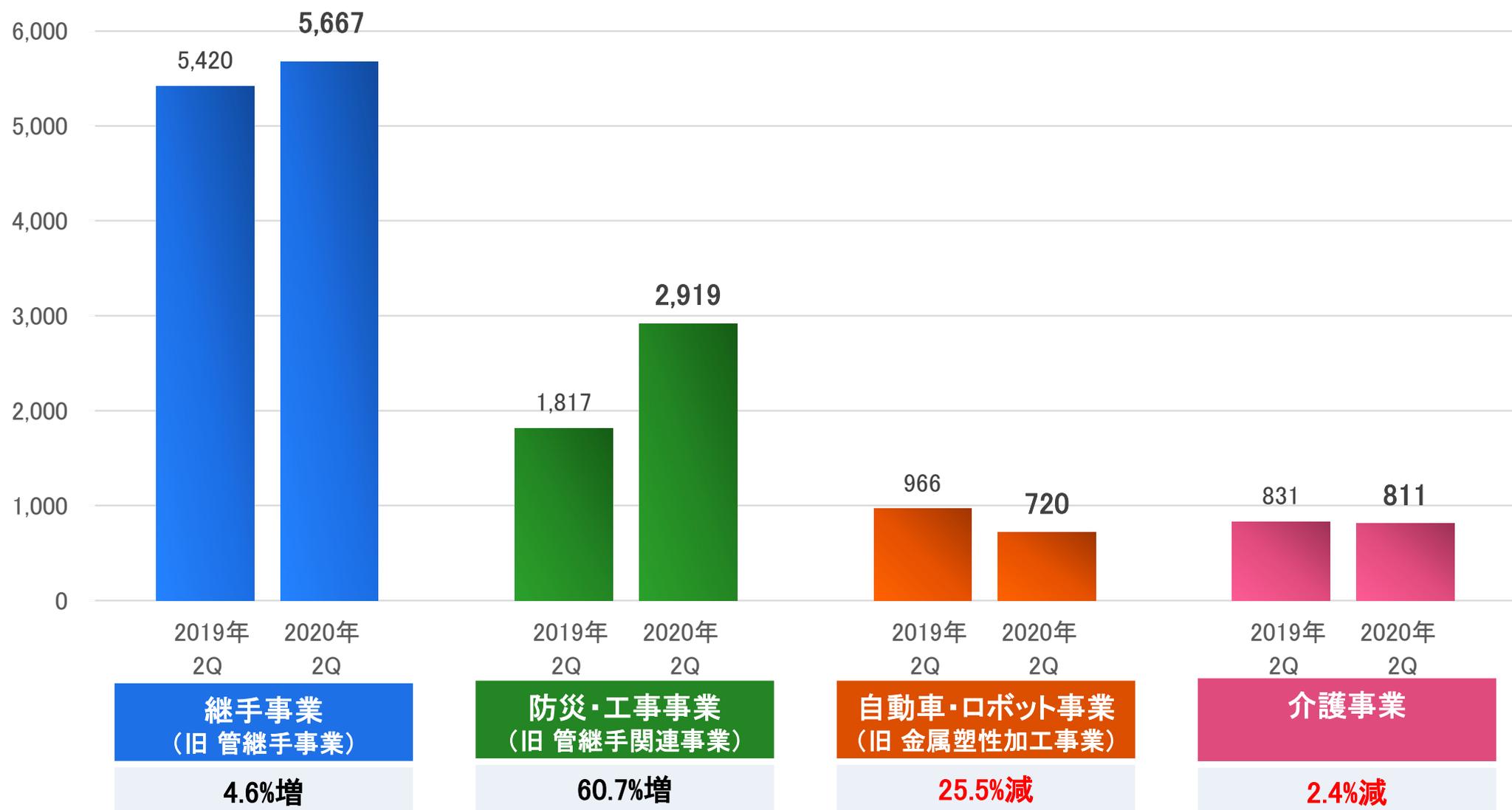


**親会社株主に帰属する  
四半期純利益**  
5.8%増

## 第2四半期 セグメントごとの前年同期比【売上高】



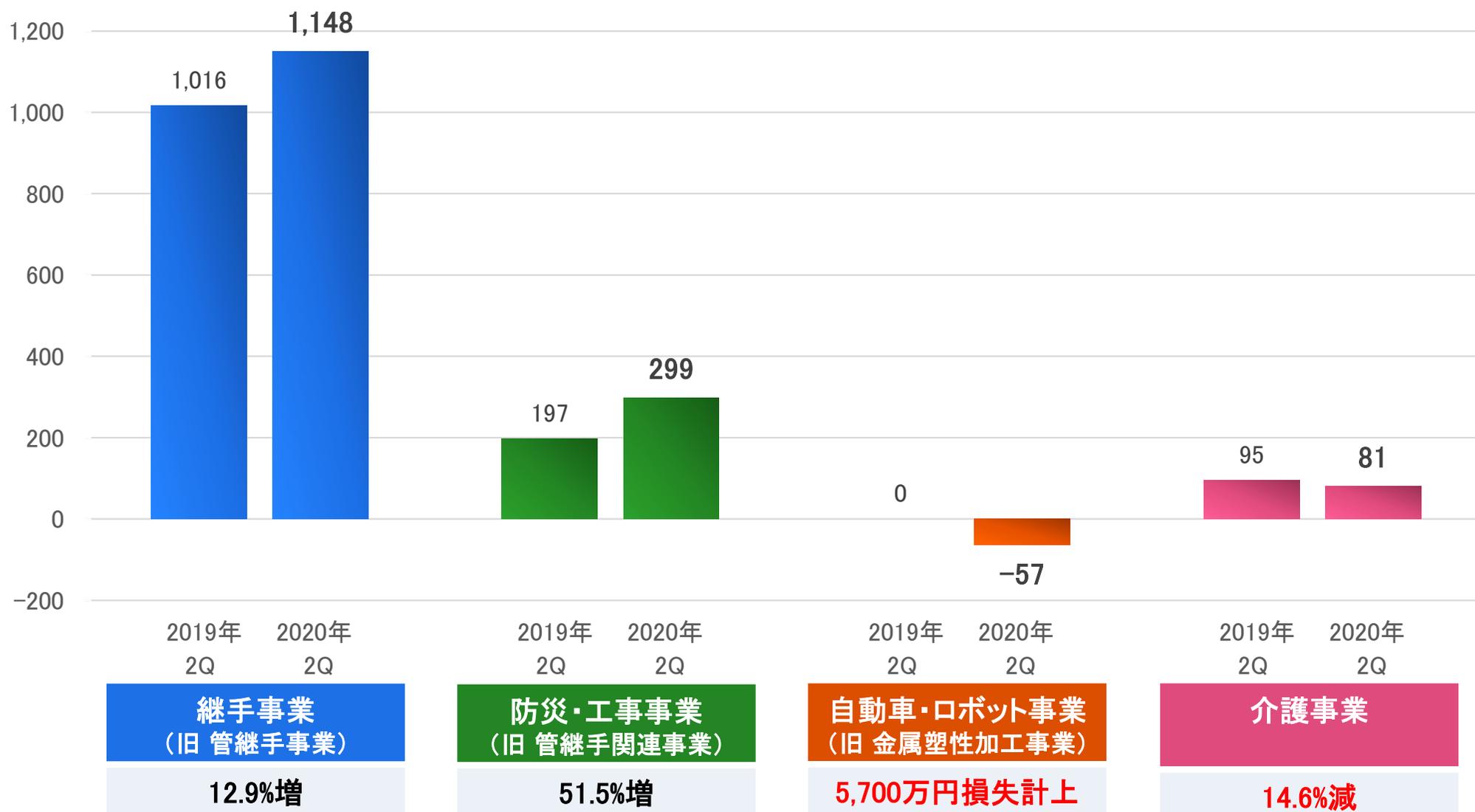
単位:百万円



## 第2四半期 セグメントごとの前年同期比 【営業利益】



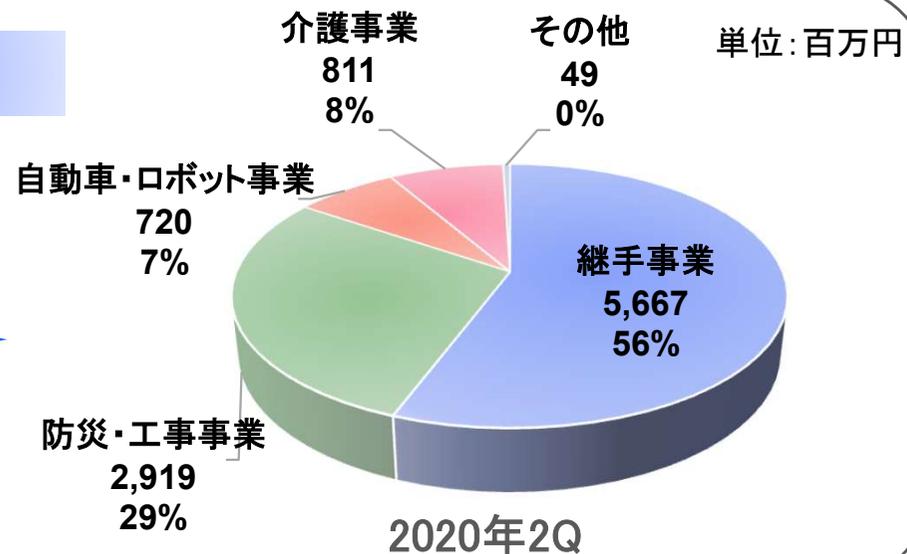
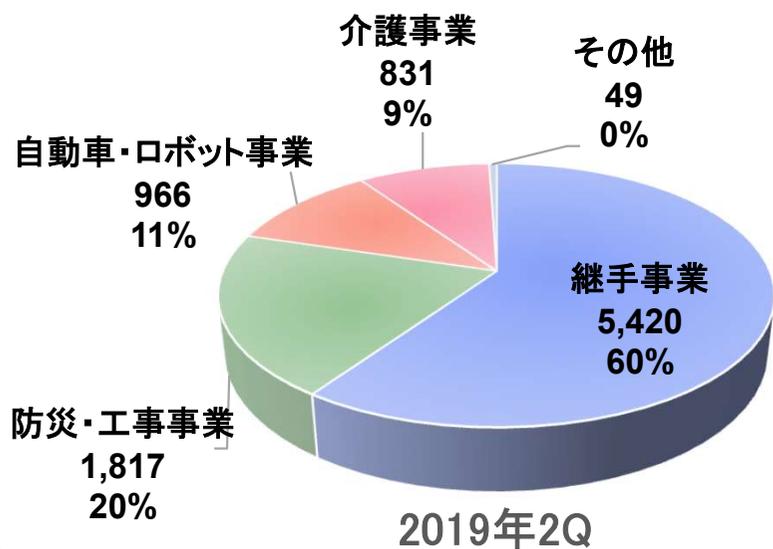
単位:百万円



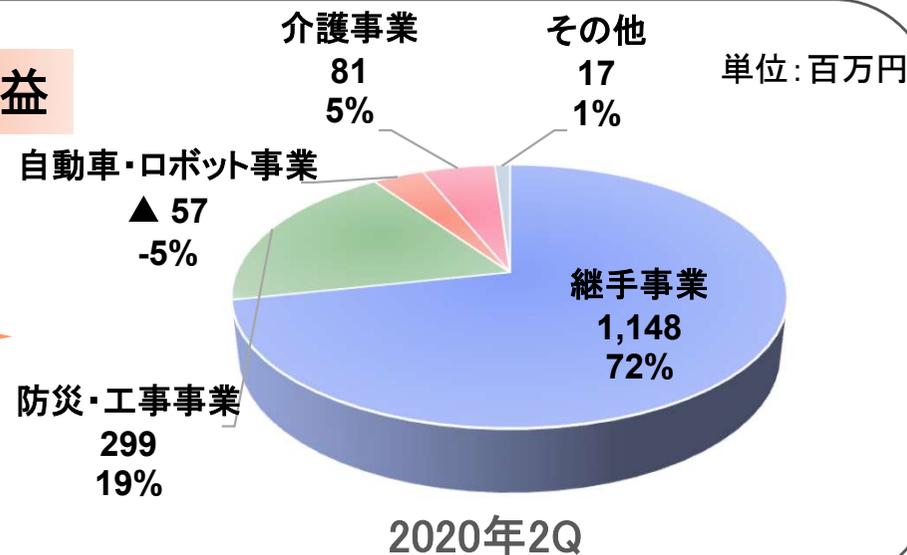
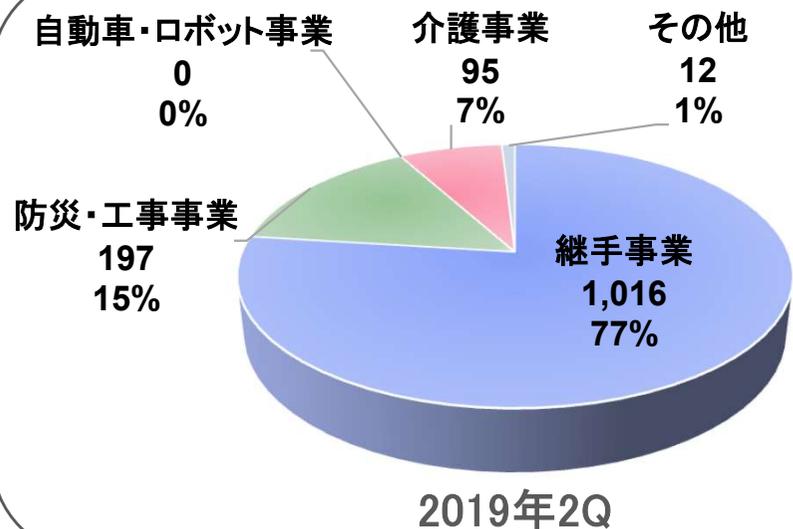
# セグメント構成比



## 売上高



## セグメント利益



## 連結貸借対照表(抜粋)



(単位:百万円)

	2019年期末		2020年2Q		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産合計	14,710	51.4%	13,888	51.4%	▲822
固定資産合計	13,902	48.6%	13,109	48.6%	▲792
<b>資産合計</b>	<b>28,612</b>	<b>100.0%</b>	<b>26,998</b>	<b>100.0%</b>	<b>▲1,614</b>
負債合計	9,926	34.7%	8,071	29.9%	▲1,854
純資産合計	18,686	65.3%	18,926	70.1%	240
<b>負債純資産合計</b>	<b>28,612</b>	<b>100.0%</b>	<b>26,998</b>	<b>100.0%</b>	<b>▲1,614</b>

(主な要因) 流動資産 : 未成工事支出金 ▲894  
 固定資産 : 関係会社出資金 ▲827  
 負債 : 未成工事受入金 ▲1,082、買掛金 ▲167、長期借入金 ▲244  
 純資産 : 親会社株主に帰属する四半期純利益 +764、配当金 ▲437

## 連結損益計算書(抜粋)



単位:百万円

	2019年2Q	2020年2Q	前連結会計年度比 (増減額／増減率)	
売上高	9,084	10,168	1,083	11.9%
売上原価	5,859	6,812	953	16.3%
売上総利益	3,225	3,355	130	4.0%
販売費及び一般管理費	2,122	2,123	0	0.0%
営業利益	1,102	1,231	129	11.8%
経常利益	1,165	1,249	83	7.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	722	764	41	5.8%

真空機器:5G関連の設備需要の伸びにより売上増加。利益率高く、営業利益増加にも貢献。  
消防設備工事:大型案件の完成により売上増加。

---

## 2. 2020年12月期 業績予想

---

## ◆ 連結業績

- 引き続き、継手事業を中心に伸長が見込まれるものの、新型コロナウイルスによる不確定要素が多く、合理的な算定が困難なため、現時点で業績予想の変更は行っておりません。今後、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## ◆ 継手事業(旧 管継手事業)

- 真空機器は、5G関連の受注により、通期で前年比プラスの見込み。
- スプリンクラー巻き出しフレキ「SP-X」では、上期受注の大型案件が、下期業績に貢献する見込み。

## ◆ 防災・工事事業(旧 管継手関連事業)

- 貯水タンク「マルチアクア」の個人住宅向け販売増に期待。

## ◆ 自動車・ロボット事業(旧 金属塑性加工事業)

- 自動車関連は、新型コロナウイルス感染症の影響で、苦戦が予想される。
- 産業機器分野の製品拡販に注力。

## ◆ 介護事業

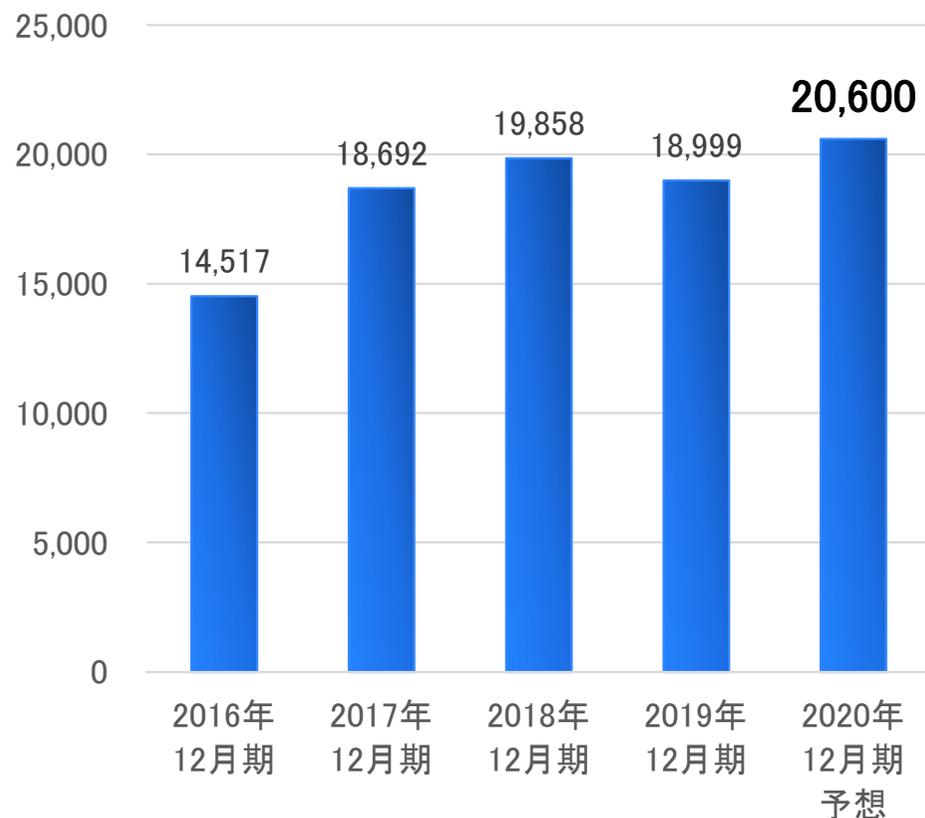
- 福祉用具レンタルは、堅調に推移の見込み。



# 2020年12月期連結業績予想

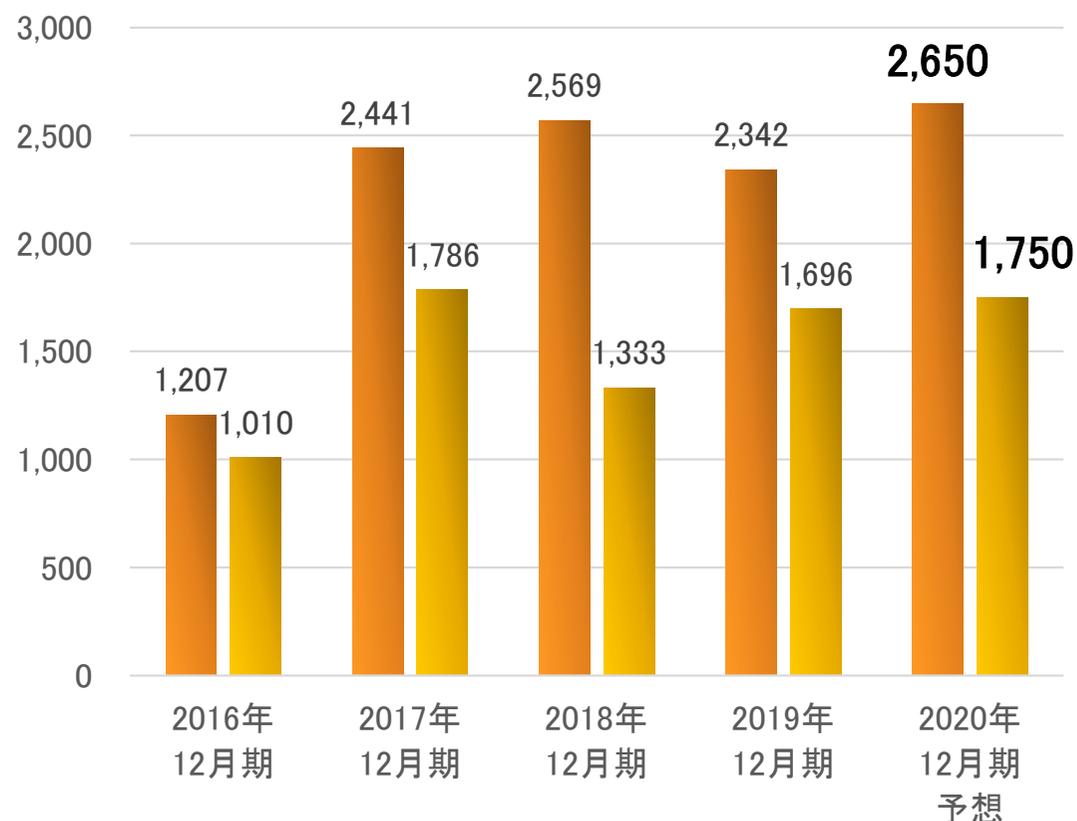


単位:百万円



前期比	
売上高	8.4%増

単位:百万円



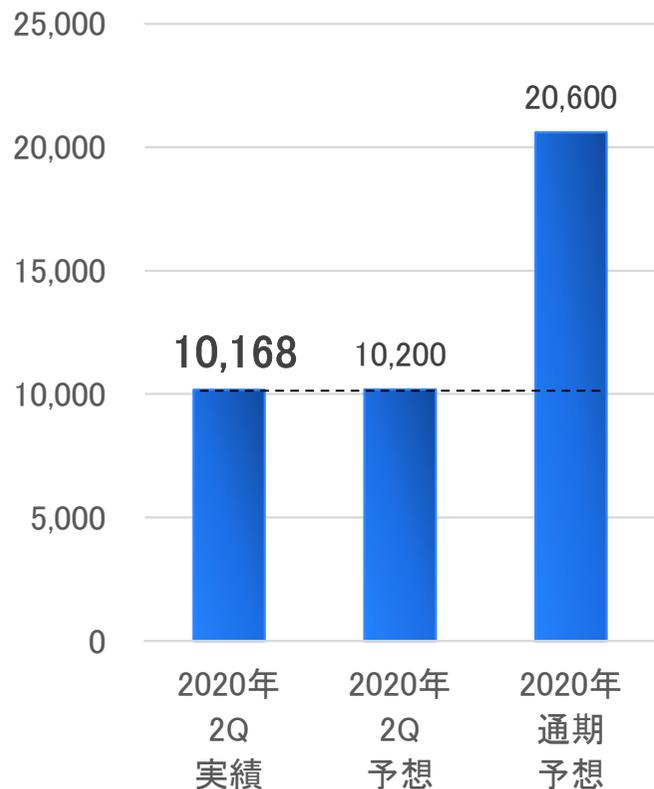
前期比	
営業利益	13.2%増
親会社株主に帰属する当期純利益	3.2%増

✓ 本資料作成時点で、期初に開示いたしました当期の連結業績予想に、変更はございません。

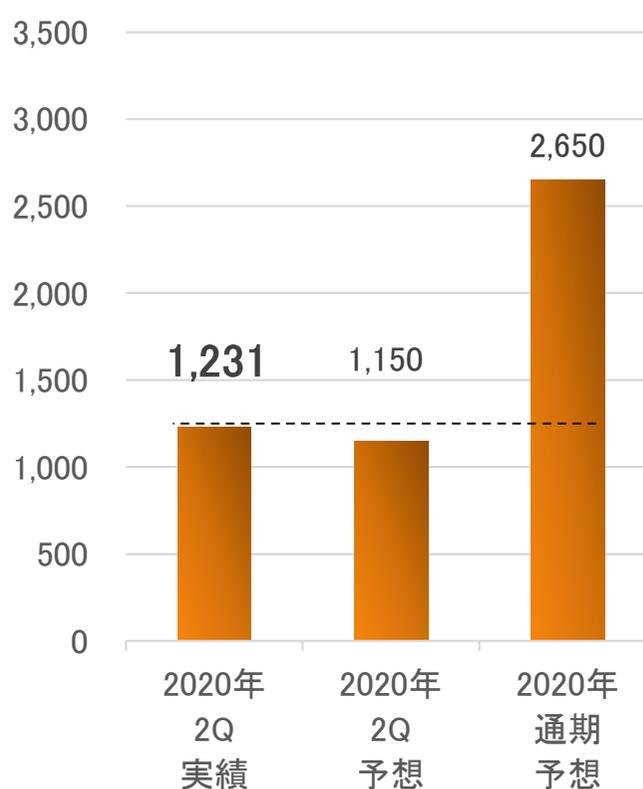
## 第2四半期連結業績の予想比



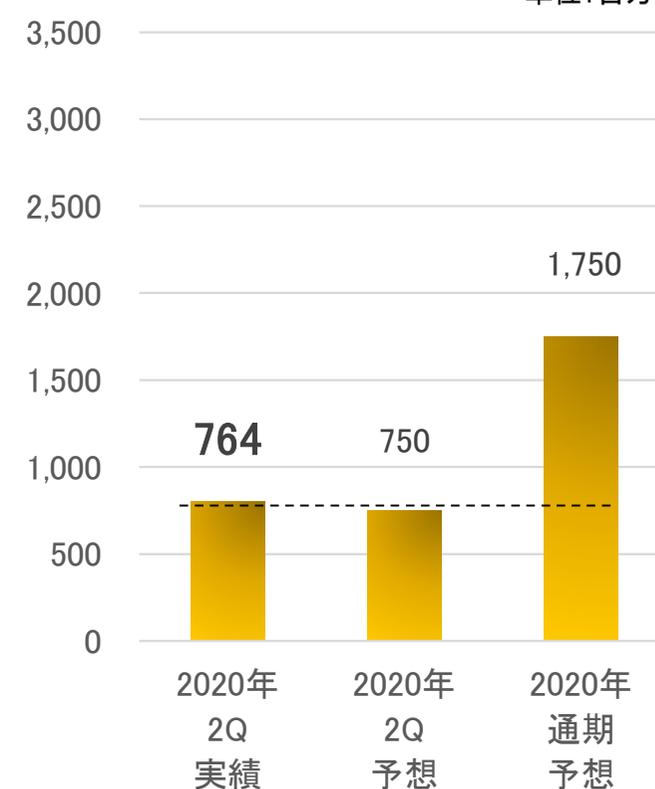
単位：百万円



売上高	
2Q予想比	99.7%
通期進捗率	49.4%



営業利益	
2Q予想比	107.1%
通期進捗率	46.5%



親会社株主に帰属する当期純利益	
2Q予想比	101.9%
通期進捗率	43.7%

✓ 本資料作成時点で、期初に開示いたしました当期の連結業績予想に、変更はございません。

---

## 3. TOPICS

---

## ◆ 連結業績

- 一部の事業で影響が生じているものの、2Q末時点で、連結業績への大きな影響には至りませんでした。先行きは不透明であり、引き続き注視して参ります。尚、今期業績への影響が大きくなる場合は、適時に開示いたします。

## ◆ 継手事業(旧 管継手事業)

- 真空機器においては、同ウイルスの影響は軽微であり、継手事業を牽引しました。
- 春節明けに、中国当局の指導に従い、上海工場が約1週間、天津工場が約3週間、休業しました。
- 日本国内およびベトナムの工場は稼働を継続し、影響は軽微でした。

## ◆ 防災・工事事業(旧 管継手関連事業)

- 消防設備工事は、同ウイルスの影響は軽微であり、大型案件が無事完工しました。

## ◆ 自動車・ロボット事業(旧 金属塑性加工事業)

- 自動車メーカーの生産が減少したため、静岡工場が35営業日休業しました。

## ◆ 介護事業

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、戸別訪問が制限されましたが、影響は軽微でした。

### 新工場 7月完成、9月生産開始予定。

- ベトナムの子会社 TF(VIETNAM)CO.,LTD の生産効率が、大きく向上します。
  - ✓ 第1工場に隣接して新工場(第3工場)を新設したため。
- 勤務シフトを柔軟に組め、人材を有効活用できます。
  - ✓ 都市部から約7kmの通勤圏内に立地するため、人材確保・通勤時間において優位性を発揮します。
- 新型の高速ブレイドマシンを導入し、フレキシブル継手の生産力強化・生産効率向上を促進します。
  - ✓ スプリンクラー用フレキシブル継手「SP-X」も、主に新工場で量産する予定です。
- 新工場の稼働により日本、ベトナム、中国の各工場のバランス最適化が進み、リスク分散の効果が更に高まります。
  - ✓ 将来的にはベトナム工場が海外の主力工場となる予定です。



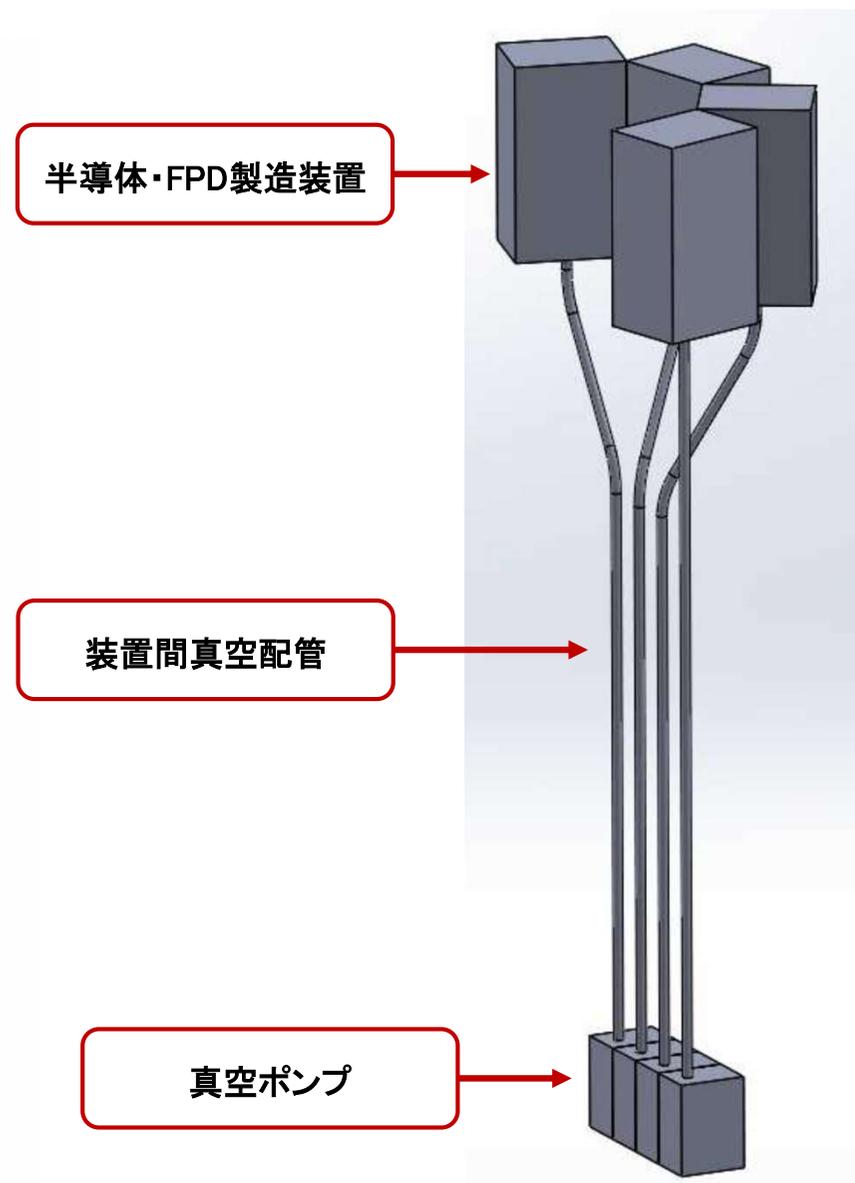
ベトナムの新工場(第3工場)  
TF(VIETNAM)CO.,LTD.(ベトナム国ホーチミン市)

## ◆ 当期の状況

- 5Gの普及に備え、半導体製造メーカーで、工場の新設や製造ラインの増設が活況。
- 半導体の製造ラインには真空配管を設置するため、真空機器の需要が拡大。
- 当社の真空機器は、半導体・FPD製造装置用、真空ポンプ用、装置間真空配管用の3つの用途で、採用されています。
- また、真空配管の工事も請け負っており、製品と工事の両面でサポートできることも、大きな特徴です。

## ◆ 成長イメージ

- 真空配管は、半導体のみならず、様々な分野の工場に製造ラインに設置され、また、医療用の診断装置にも設置されております。
- 当社は、マーケットシェアの拡大と、新期分野への参入のため、新製の開発、製品ラインナップの拡充を図り、真空機器の更なる業績拡大を目指して参ります。



---

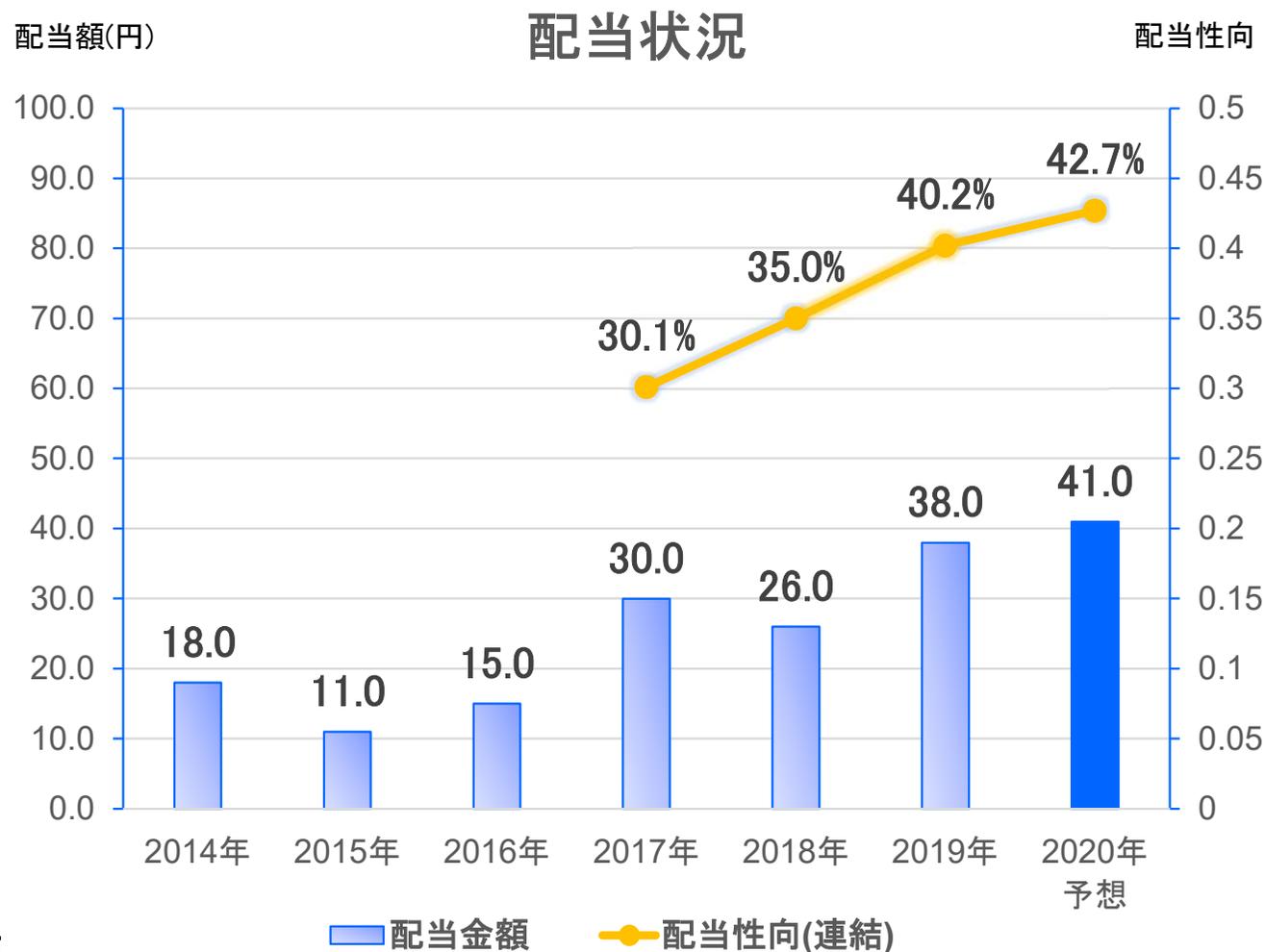
## 4.株主還元

---

➤ 2020年12月期  
中間配当金  
**20.0円**  
支払開始：8月17日（月）

➤ 2020年12月期  
予想配当金  
**41.0円**  
(期末21.0円)

➤ 連結配当性向  
**40%以上**



## ■引続き安定的な配当を実施

\*1 連結配当性向は有価証券届出書記載の「1株当たり配当額」を連結の「1株当たり当期純利益」にて除して算出

\*2 2017年度の配当額30円は、創立40周年記念配当3円を含む

2020年12月期 第2四半期決算



---

補足説明資料 - 完 -

---

株式会社テクノフレックス  
証券コード:3449